

■三好伊平次 部落改善運動家、融和行政家。差別撤廃運動をするうち、政策転換した政府に登用され、融和事業を推進。

みよしいへいじ

明治6年政変 1873 = 岡山県和気郡泉村坂本の部落で、富農の三男に生まれる。

幼少より漢学などを学び、地元の野吉高等小学校に入学。

明治14年政変 1881 = 7歳：
新体詩抄・・・1882 = 9歳：

エタなるが故にひどい差別と侮辱を受け、成績が良いにもかかわらず首席にも優等生にもなれないなか、
屈辱をじっと噛みしめながら、脳目もふらず勉強、

帝国憲法発布 1889 = 16歳：

大津事件・・・1891 = 18歳：

大本教・・・1892 = 19歳：

郡司千島探検 1893 = 20歳 徴兵に合格して姫路歩兵第十連隊に入営。過酷な訓練に耐えて上等兵候補者に選抜されるが、野外演習のときに右足を負傷し病院で八ヶ月の療養生活を送り、

日清戦争始・・・1894 = 21歳

日清戦争終・・・1895 = 22歳：

地区の青年団{修身社}の活動に参加、社会主義思想の影響を強く受け、片山潜・幸徳秋水らの社会民主党に加盟し活動しながら、やがて{修身社}の社長となり、かたわら村の区長として、部落差別をなくしたいとの念願から、風俗と生活の改善、地位の向上に取組み、備前・備中・美作など県下の同志に呼びかけて、

ピアノ国産化・・・1900 = 27歳：

教科書疑獄・・・1902 = 29歳：

日比谷公園・・・1903 = 30歳：

日露戦争始・・・1904 = 31歳：

日露戦争終・・・1905 = 32歳：

満鉄発足・・・1906 = 33歳：

韓国反日暴動 1907 = 34歳：

伊藤博文暗殺 1909 = 36歳：

韓国併合・・・1910 = 37歳：

*阿崎熊吉らと{備作平民会}を結成、部落民自らが差別を撤廃しようとする全県的組織の嚆矢となる。
大阪で{大日本同胞融和会}を結成し、自ら幹事となって部落改善運動を全国に展開。{万朝報}で堺利彦から、{中国民報}で田岡嶺雲から激励され、
新聞各紙に寄稿して、世に部落差別の撤廃を訴え、森近運平らの岡山初の社会主義者の組織{岡山いろは倶楽部}に参加するなどするも、世論はもちろん部落民からの賛同も少なく、同会は頓挫、

堺利彦らと{日本社会党}を結成して、正式にそのメンバーとなったが、
同党が解散させられ、

*<大逆事件>で運動が閉塞させられたことから、以後社会主義運動との関係を断ち、部落問題に没頭。

明治天皇没・・・1912 = 39歳：

第一次大戦始 1914 = 41歳：

21ヶ条要求・・・1915 = 42歳：

ロシア革命・・・1917 = 44歳：

本格政党内閣 1918 = 45歳：

ハルビン条約・・・1919 = 46歳：

大暴落・・・1920 = 47歳：

原敬首相暗殺 1921 = 48歳：

阿崎熊吉ら、かつての備作平民会のメンバーを再結集し{岡山県青年同志会}を結成。
組織の一部を変更し、{岡山県同志会}と改称するが、同会の活動も停滞してきたため、
上道・赤磐・御津・和気の一部を基盤とする{岡山県聯合改善会}として再組織(総長阿崎熊吉)。
全国規模で起こった米騒動に、部落民が多く参加して主体的に活動したことに驚いた政府が、それまでの部落改善対策から融和政策へと方針を転換。岡山県では、岡山県社会事業協会が設立され、
県庁に新設の社会課のもと、全国に先駆けた官民合同の融和促進機関創立の発起委員となり、
{岡山県協和会}創立とともに、世話役に就任。
*内務省の社会課勤務となり、部落問題担当主事として各種の調査・研究・対策などの業務に携わり、

治安維持法・・・1925 = 52歳：

金融恐慌・・・1927 = 54歳：

官民合同で結成された{中央融和事業協会}の参事として事業部を担当し、
参事部落問題に関する各種の資料の出版、中央や地方の講習会の開催、地方融和団体の活動促進に尽力、
特に"部落問題の国策確立"や"融和事業完成十ヶ年計画"の具体的方策の立案と実施に全力を傾ける。

満州事変・・・1931 = 58歳：

芥川直木賞始 1935 = 62歳：

二二六事件・・・1936 = 63歳：

日中戦争始・・・1937 = 64歳：

健保+総動員 1938 = 65歳：

{中央融和事業協会}の常務理事となり、
厚生省の新設後も、同省において融和事業の推進に専念。

日米開戦・・・1941 = 68歳：

戦時翼賛体制として{同和奉公会}に改組後も、その理事として最後まで頑張り抜く。

敗戦・・・1945 = 72歳：

新憲法公布・・・1946 = 73歳：

*敗戦後、
{部落解放全国委員会}が組織され、戦前の水平社と融和団体の有志が一体となって活動を再開するや、その中央本部の顧問を委嘱されたが、

高齢の故もあって第一線での活動はせず、もっぱら著述に専念して、

独立回復・・・1951 = 78歳：

自衛隊発足・・・1954 = 81歳：

全共闘・・・1969 = 96歳：

没した。

インターネット「岡山部落解放史」ノート(藤田孝志)、